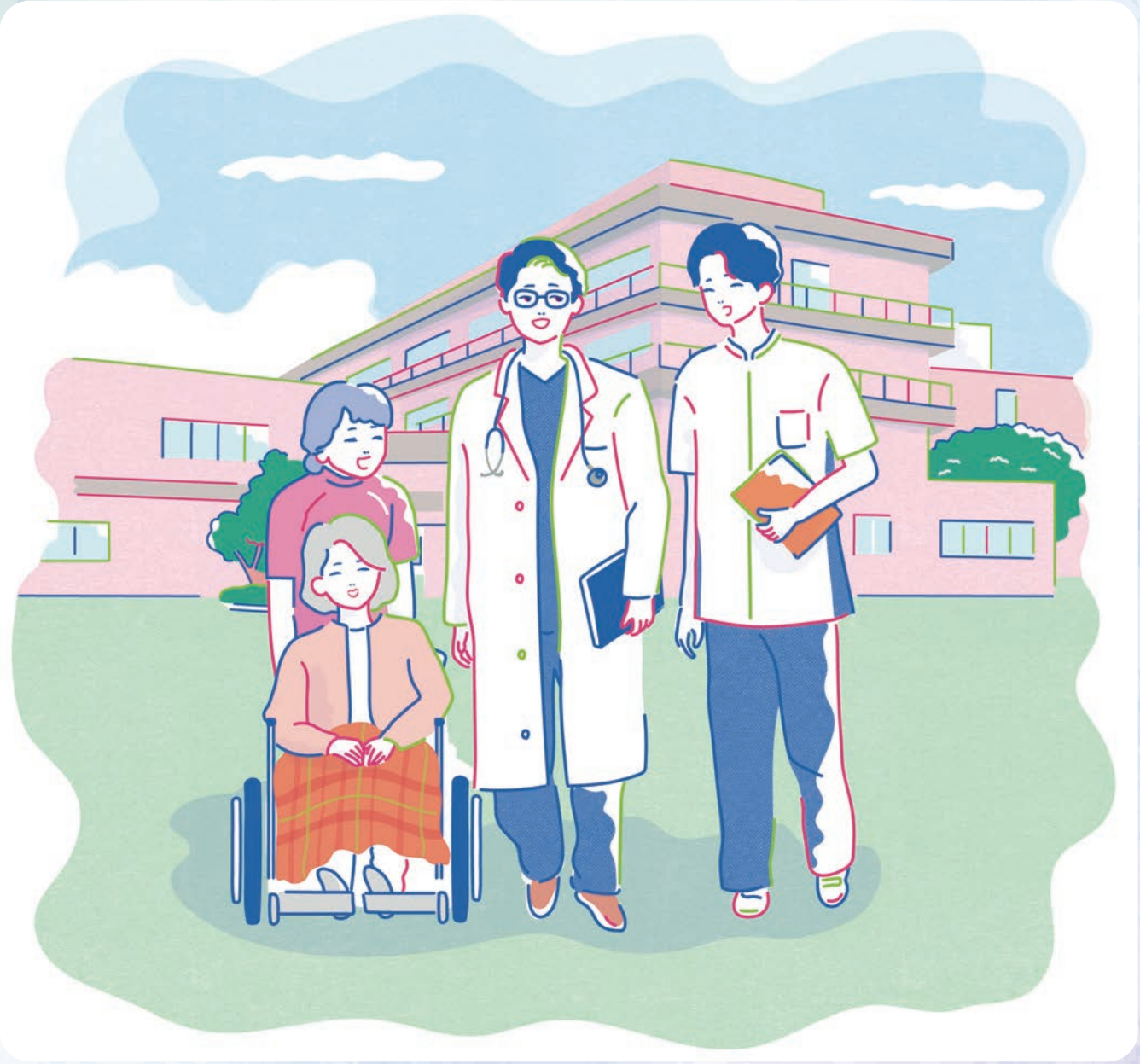
医療法人大医会　広報誌

あじさい

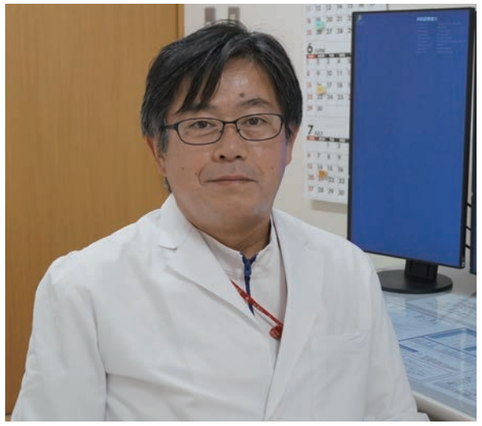
2025年
春夏号

2025年5月 発刊



日進おりど病院

■予防医学推進・研究センター　■在宅医療センター
■内視鏡センター　■病児・病後児保育センター
■住宅型有料老人ホーム 心の結 浅田　■あまのがわ耳鼻咽喉科クリニック（安城市）



巻頭言

第二次救急医療機関としての地域貢献

理事長　大島 亮

1980 年おりど病院（1995 年日進おりど病院に改名）開設当初より時間外外来として救急医療に携わってまいりました。そして 2013 年愛知県より第二次救急医療機関の要請をいただきました。これは当院のような民間病院とって大変名誉なことであり、まさに気の引き締まる思いでお受けさせていただきました。

第二次救急医療機関とは、「入院を要する救急医療を担う医療機関であって、第三次救急医療機関以外のものであり、24 時間 365 日、救急搬送の受け入れに応じること、傷病者の状態に応じた適切な救急医療を提供すること、地域で発生する救急患者への初期診療と応急処置を行い、必要に応じて入院治療を行う。医療機関によっては、脳卒中、急性心筋梗塞等に対する医療等、自施設で対応可能な範囲において高度な専門的診療を担う。

また、自施設では対応困難な救急患者については、必要な救命処置を行った後、速やかに、救命救急医療を担う医療機関等へ紹介する。」とあります。

当院としましては地域の皆様が安心して暮らしていけるよう、医療の面を全力でサポートさせていただこうと考えております。しかし正直これまでも十分な体制が取れず、かえって皆様にご迷惑をかける場面も多々あったかと思います。

日進市、東郷町から病児・病後児事業の委託を受けるなど、行政からも医療面の地域貢献を期待されております。今後ますます医療での地域貢献の充実が必要不可欠と考えております。当院としましては昨年 5 月より救急医をお迎えしこれまで以上に救急医療を強化。もちろん当院でできる範囲での対応となりますが、まずはお断りしない体制づくり。診察させていただいて的確に診断・治療、ご指示させていただく。病状によっては高次医療機関へのご紹介が必要となる場合もあると思いますが、「まずは診させていただく」。現在 医局一同これら「断らない医療」をモットーとして日常診療を行っております。さらに大変微力で、まだまだ不十分かと思いますが、昨年 7 月より日曜日の時間限定（9 時 ~16 時 45 分）で、小児の救急外来も開始させていただいております。今のところ十分に御周知いただけていないのか、ほんのわずかな患者様にご利用いただいているにすぎませんが、今後も継続し地域の皆様のお役に立てればと考えております。

日進市また近隣の東郷町には市民病院がございません。当法人の理念の中にもありますように、地域住民から信頼され、社会に貢献できる医療施設となるよう今後も全力全霊を尽くしていきます。引き続きご指導、ご愛顧お願いいたします。

地域の子どもたちを守りたい。

小児科 時間外 救急外来 実施中

小児救急外来

毎週日曜日　9:00 ～ 16:45

「日曜日でも朝から夕方まで小児科医がいる病院が近くにある」
そんな「あったらいいな」に応えるため、2024 年 7 月に小児救急外来を開始致しました。

・医師 / 看護師 / 診療放射線技師 / 臨床検査技師 / 薬剤師（門前薬局）常駐
・レントゲン / 血液検査 / 抗原検査 等が可能
・0 歳から中学生までの内科疾患は原則対応
・医師が必要と判断した場合は、高次医療機関へ紹介（当院への入院は不可）

スポットファイア導入　測定作動時間約 15 分

様々なウイルスや細菌（複数の病原体 全 15 種類）を、
一本の綿棒、1 回の検査でできる、『多項目同時 PCR 検査機器』を導入しました。

複数の病原体とは以下のものです。

ウイルス
・新型コロナウイルス
・季節性コロナウイルス
・インフルエンザウイルス A/B
・ヒトメタニューモウイルス
・RS ウイルス
・アデノウイルス　など

細菌
・マイコプラズマ
・クラジミア
・百日咳　など

24 時間 365 日 医師常駐

救急外来のご案内　代表☎ 0561-73-7771

当院では、夜間や休日も輪番制で医師が対応し、救急車や時間外に来院される患者さんを積極的に受け入れております。　2024 年度対応実績：【救急搬送受入】1,237 件　【時間外対応】3,668 件

※症状や年齢によってお断りする場合もございます。また緊急性の高い方から診察いたします。

Ⅰ 受診申し込み TEL
■ 症状
■ 名前・生年月日・性別
■ 当院受診歴

Ⅱ 持参物
■ マイナンバーカード（保険証）
■ 医療受給者証
■ 当院の診察券（お持ちの方）
■ おくすり手帳（お持ちの方）

Ⅲ 来院
■ 総合受付へ

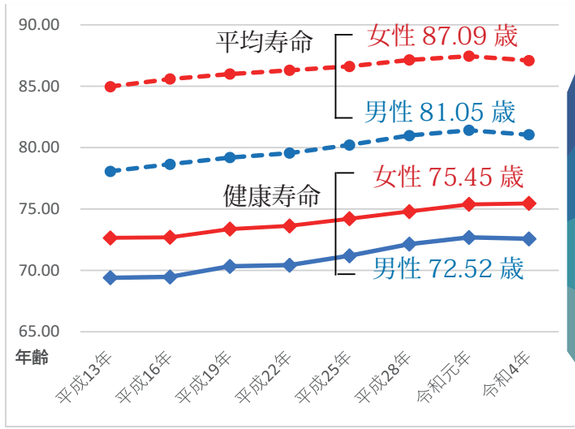
生活習慣病の予防対策の大原則は
運動と適切な食事から
（筋トレと有酸素運動）

内科　藤田（ふじた）浩史（ひろし）医師　監修

生活習慣病とは

生活習慣病は、「食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群」であり、表1のような疾患が含まれています。

なかでも糖尿病・高脂血症（脂質異常症）・高血圧の生活習慣に関する病気がフレイル（筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい状態）に関与し、動脈硬化の進行から最終的に心筋梗塞や脳梗塞を発症し、結果として健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）や平均寿命（0歳児が平均的に何年生きるかを示す値）の短縮につながります（図1）。超高齢化社会に伴い当院でも歩行困難、寝たきりや自力での摂食、排泄が困難な患者様が増加し、患者様のみならずご家族様も大変な思いをされているため、健康寿命延長への取り組みの強化の必要性を実感しています。



▶図 1）平均寿命と健康寿命の推移

食習慣	糖尿病、肥満、高脂血症、高尿酸血症 等
運動習慣	糖尿病、肥満、高脂血症、高血圧症 等
喫煙	癌、循環器病、慢性気管支炎、肺気腫、歯周病 等
飲酒	アルコール性肝疾患 等

▶表 1）生活習慣と生活習慣病の関わり

当院の生活習慣管理への取り組み

厚生労働省の令和6年度の診療報酬改定では糖尿病・高脂血症（脂質異常症）・高血圧を主病名とする生活習慣病の患者様の治療について、内服に頼るのではなく多職種と連携して【栄養、運動、休養、喫煙、家庭での仕事や血圧の測定、飲酒、服薬及びその他の療養】等、生活習慣に関する総合的な治療の必要性が明記されました。当院では診察室での診療だけでなく、管理栄養士と共に、栄養指導にも注力し食事に関しての取り組みを強化しています。

日進市は平均寿命が全国的にも高く令和2年度は、男性は全国4位、平均寿命の男女差の少ない市町村でも全国4位と有数の長寿市となりました（1887市区町村）。引き続き高次医療機関、地域の医療機関様と密な連携を行い近い将来、日進市の平均寿命が日本一（世界一）になる可能性もあります。しかし平均寿命の延長だけでは不十分であり、健康寿命の飛躍的な延長が不可欠です。

そのためには医療機関だけでなく【主役である日進市・東郷町に在住の皆様】に生活習慣への取り組みに積極的に参加していただき平均寿命と健康寿命が近似するよう啓蒙をしていくことが必要と考えています。食前の筋トレ、食後の有酸素運動（図2）を取り入れましょう。筋トレと有酸素運動の併用で生活習慣病が改善し、結果的に運動習慣の無い方と比較し、死亡するリスクを40％減らす事が可能です。（図3 左ページ参照）

●筋肉トレーニング
毎食前 2 分
腕立て伏せやダンベル運動
（6 分 / 日：週 42 分）

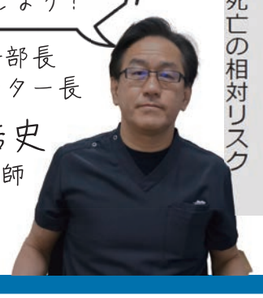
●食事

●有酸素運動
食後 2 ～ 3 時間後
ウォーキング
（30-60 分：週 5 日）

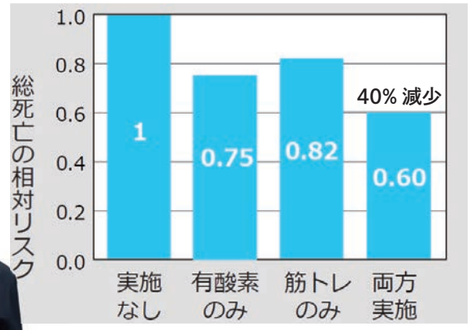
簡単にできる取り組み
→ 食事後に筋肉細胞内へ糖の取り込みが増加
→ 筋肉に取り込んだ糖（グリコーゲン）を消費

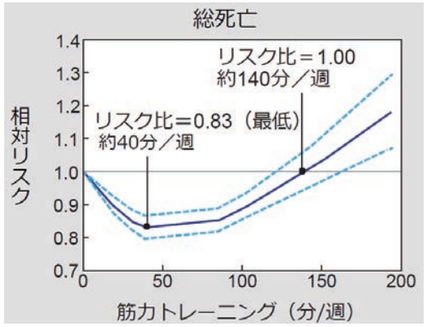
▶図 2）効率的な食前食後の運動方法

主役はこの章を読み終えた貴方です。「今日」から開始しましょう！



消化器内科部長
内視鏡センター長
藤田 浩史
医師





▶図 3）総死亡リスクに対する有酸素運動と筋トレの関係

管理栄養士による栄養指導について

『栄養指導』と聞いて「お菓子や漬物を禁止されそうで嫌だな」「好きに食べたいから自分には関係ない」と消極的な気持ちになることはないでしょうか？当院では 3 名の管理栄養士が 日々外来患者様と食生活のお話しをしますが、「〇〇禁止」とお伝えすることはほとんどありません。患者様の今の食生活を聞かせて頂き、食べる時間やタイミング 、食べる量や頻度 、外食や中食 (総菜やデリバリー) の選び方、調理方法などの工夫をお伝えします。よりよい食生活の目標を患者様と相談し、経過の確認や目標の再設定も致します。「生活習慣病を改善したい」「少しの工夫なら出来そうかも」「最近痩せてしまって心配」 など食生活相談 (栄養指導) のご希望は、お気軽に主治医にお伝えください。(疾患により栄養指導対象外の場合があります)

通院中の患者様の様子

Case 01
2 型糖尿病 肥満 40 代 女性

患者様と一緒に食事内容を確認し「毎食少しでも野菜を摂る」「主食 (ご飯など) を適量に」「定期的に体重測定」など目標を話し合いながら決めました。同じメニューの食事を摂るなどご家族の協力もあり 1 年半で 5Kg 以上の減量、HbA1c（糖尿病の診断や治療の経過を確認するために利用される検査基準の一つ）10.7% → 6.4% と大幅に改善しました。

Case 02
2 型糖尿病 肥満 60 代 男性

勤務形態が不規則なため食事の調整が難しい方です。受診毎に栄養指導も受けられ、勤務明けの食事の摂り方や内容について確認をしています。6 年間栄養指導を継続されていますが、「栄養指導に来る前やその後は食生活を見直さなきゃと思う」と話され、体重は増減しながら緩やかに減少、HbA1c は介入直後に HbA1c 14% → 6.5% に改善、その後 約 5 年半は HbA1c7~8% 台を維持し、合併症の発症・進展を防いでいます。

管理栄養士 川原

看護師による慢性腎臓病・糖尿病透析予防の指導について

腎臓を守り、その人らしく生きる

2024 年 6 月の生活習慣病管理料改定に伴い、当院では医師・看護師・管理栄養士が連携したチームを立ち上げ、透析リスクの高い患者さんに対して症状や身体について理解を深めるためのサポートをしています。

腎臓は異常があったとしても自覚症状が現れにくく、本人が気づかない間に症状が進行してしまう可能性の高い臓器です。特に糖尿病の 3 大合併症の一つして「糖尿病性腎症」があり、人工透析導入の原因の第 1 位となっています（図 4）。

▶図 4）糖尿病の 3 大合併症

■どんな指導をするの？
- 腎臓病の理解を深める　・普段の食事のふりかえり
- 自身の身体を知る　・フットチェック（長く歩くために）
- セルフケア能力を向上させる

■対象疾患
- 糖尿病性腎症　・慢性腎臓病

「やる時間が作れない・・」「身体が痛いのに・・」の声もあります。
出来る事一つから一緒に考えましょう！　看護師 久野

医師紹介

整形外科 副部長 大島（おおしま） 明（あきら） 医師

□足の外科　□一般整形外科

足外科の症例と治療

資格など
整形外科 専門医

趣味
釣り・スキー・子育て

自分年表
・中学生：卓球部
・高校生：バトミントン部
・大学生：スキー部

所属学会
日本整形外科学会
日本足の外科学会
日本整形外傷学会
日本四肢再建・創外固定学会
日本スポーツ整形外科学会
日本リウマチ学会

診療時間

経歴

診療でこころがけていること

整形外科を受診される方の多くは、痛みを中心とした日常生活で困る症状が多いことから症状をできる限り緩和し、快適な生活が送れるようになることを目指していきます。そのためには、まず症状の元となる原因の検索が必要であり、それには問診や画像検査などが必要となります。
　また生活スタイルなど個々人によって異なることも多く、状態を把握したうえで、リハビリをはじめとした保存治療や手術治療など治療法の選択肢を提案し、それぞれの人にあった解決法を一緒に探していくことが大切と考えます。同じ症状でも解決法は違ったり、違う症状でも解決法は同じであったり、最終的に困っている症状を改善し、来てよかったと思ってもらえるような外来を目指しています。

長浜のヤンマーミュージアムにて

足の外科って？

足首より下の疾患を専門とします！

足首や足の骨・関節・靭帯などの組織の外傷、障害、変形を専門的に診療する分野です。

以下のような症状、ガマンしていませんか？

- 足首が腫れて痛い
- 足の甲が痛い
- 足首の捻挫ぐせがある
- 足の裏が痛い、しびれる
- 足の親指の付け根が腫れて痛い
- 踵（かかと）が痛い
- 歩行時に痛みがある
- 扁平足
- 市販の靴を履くと痛い
- 足の指が湾曲している

足部・足関節の症状には様々な原因が考えられます。専門医が少なく、正確に診断されていない症例、適切な治療が行なわれていない症例、見逃され放置されている症例が多く存在します。
当診療科では、早期からの治療加入により症状の改善や進行の予防を目指します。
リハビリや装具などの保存治療、また高度な変形に対する手術治療を行う事で状況を改善していくことを目指しています。

保存治療の例（医師の指示が必要です）

リハビリ療法

リハビリスタッフよる
疾患・病期に合わせた
個別療法を行っております。

▶リハビリスタッフへの指導の様子

運動療法

各疾患に合わせた自主トレ指導もリハビリスタッフより直接指導を行っております。

Hohmann（ﾎｰﾏﾝ）体操

▶軽度から中程度の外反母趾に対して痛みの軽減が期待されています。

Toe Curl ex（ﾄｩｶｰﾙｴｸｻｻｲｽﾞ）

▶外反母趾には扁平足を伴う事が多くあり、足の指全体を曲げる事で、足の裏の筋肉だけでなく親指の曲げる筋肉をも使うことができ、足のアーチ改善が期待されています。

Short Foot ex（ｼｮｰﾄﾌｯﾄｴｸｻｻｲｽﾞ）

▶扁平足を伴う外反母趾の場合、足の裏の中の筋肉が使えていない事があり、その部分を使うことで足のアーチ改善が期待されています。

装具療法

当院では、東名ブレース（株）の義肢装具業者が医師の判断によりインソールや装具の作成、修正などを行っております。

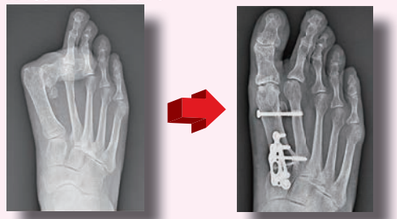
体外衝撃波治療

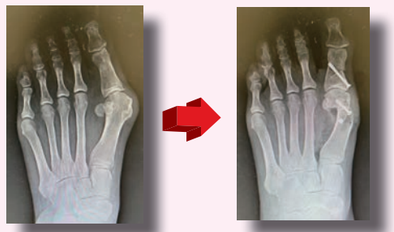
音波の一種である衝撃波を体内の組織に伝達することで、疼痛改善や組織修復を促す治療です。

外科治療の例

外反母趾

遺伝的な要因や、足にあわない靴、ハイヒールなどが原因となります。軽度であれば装具で経過をみます。重度の場合は手術により変形を矯正します。


Lapidus 変法


Long chevron + Akin

変形性足関節症

捻挫を繰り返した人や足首の骨折をした事がある人に多く、関節炎や細菌感染が原因になる事もあり、明らかな原因なく発症する事があります。

関節固定術

当院の手術室では整形外科（外傷の手術など）や一般外科（腹腔鏡手術など）を中心に手術を行っております。

患者さんがリラックスできるよう声がけをしたり音楽を流し、緊張されている患者さんに寄り添った環境を整え、麻酔科医・看護師・コメディカルスタッフと多職種連携して円滑安全なオペ実施を目指しております。

直近の学会発表
・第 50 回 日本骨折治療会学術集（2025 年）　：Calcaneal fracture-dislocation の一例
・第 49 回 日本足の外科学会学術集会（2024 年）：DynaNite Nitinol Staple を用いた Lapidus 変法の治療成績

医師紹介

尾嵜 真優実（おざき まゆみ） 医師

□訪問診療（在宅医療センター） □救急外来

在宅医療センター

資格など

日本救急医学会 専門医

所属学会

日本救急医学会

経歴

自分年表

・中学生：バスケットボール部
　　駅伝
・高校生：女子バスケ部マネージャー
・大学生：水泳部

趣味

・スキューバダイビング
・旅行

パラオでのダイビング

診療でこころがけていること

「医療の目的は、病気を治す事ではなく、幸せになること」という話を聞いたことがあります。病気を治すことはとても大事なことで、そこに医療従事者のやりがいがあるのは間違いありません。
しかし、医療に携わっていると、医療の限界を感じることも多々あります。
逆に、一生病気と向き合っていかなければいけない人でも、少しでも
苦痛を減らし、寄り添うことができるのも医療です。

私が関わる事のできる患者さんや家族はほんの一部ではありますが、自分が出来ることを最大限努められるよう今後も精進していきたいと思います。

救急科を通じた在宅訪問診療

▶救急科医としての経験

大学卒業後、救急救命センターのある岡崎市民病院で救急科医として日々多くの救急車を受入れ、中にはそのまま集中治療室で入院管理が必要な患者さんも担当しました。

▶「最期の時」まで診る在宅医へ

「救急」と いま携わっている「在宅」は、全く時間の流れが異なり、真逆のイメージを持つ方もいらっしゃると思います。

確かに急性期と慢性期の違いはありますが、救急医として携わっていた時に、在宅の患者さんが心肺停止の状態で搬送されてくることが多々ありました。
その方は在宅医も介入し、家で最期まで過ごすことを決めていたのですが、いざ急変したときにご家族は不安になり、救急車を呼ばれるのです。ご家族は突然のことでさぞ不安だったのだろうと思います。しかし、たくさんの患者さんで溢れかえっている救急外来で、忙しなく最期の時を過ごすことが本当に望まれることなのだろうかと自問自答していました。

こういった経験もあり、在宅の現場を知り、患者さんやご家族と実際にお話しし、少しでも不安なく最期の時を安らかに迎えられるお手伝いが出来ればと思い、いま訪問診療に携わっています。救急との時間軸の違いに戸惑ったり、思い通りにいかない部分もあり勉強の毎日ですが、皆さんのご期待に応えられるよう頑張りたいと思います。

訪問診療医 と 救急外来医 としての1日

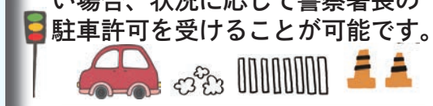
患者さんにとって「なじみの深いこの町で、思い出の深いこの家で」、安心してお過ごし頂く為に、救急医の経験を活かしながら、 訪問診療と救急外来での診察にあたっております。

9:30 午前の訪問診療開始

出発！！

? 駐車場がないけど訪問診療できる?

駐車禁止場所に駐車せざるを得ない場合、状況に応じて警察署長の駐車許可を受けることが可能です。



訪問診療はどんな人が受けることができますか?

通院が困難で自宅療養を希望される方が対象です

在宅療養では、患者さんが自分らしい生活を続ける為に、相談しながら治療にあたります。定期的に訪問をして、ご自宅で過ごしたいという希望を可能な限りサポート致します。

ランチの後は救急処置室へ！

血圧問題なし。顔色も良さそう。

お変わりないですか？

「もしも‥」の時は来てくれますか?

24 時間 365 日 緊急コール体制

医師および看護師によるオンコール体制を整えております。

お薬の受取りは?

ご自宅の近くなど、一番便利な薬局をご利用することも可能です。
※処方箋によっては取扱いのない薬局もあります

12:00 救急外来の診療に対応

昼の時間帯は、救急搬送される方や、時間外の診察に対応します。

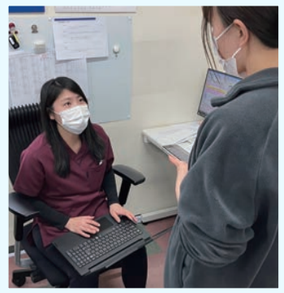
▸ 当院の救急外来について

当院は日曜祝日や夜間も含め 24 時間 365 日診療を行っています。必要に応じて、レントゲン /CT 撮影や血液検査などにも対応します。救急車や重症度の高い患者さんを優先するため、お待ち頂く場合がございます。

また医師は輪番制のため、専門外の医師が診察する場合や、症状等によりお断りする場合がございます。事前にお電話の上ご利用下さい。

お子さまは、日曜日の 9:00-16:45 に実施している小児科救急外来もご活用ください。

14:30 午後の訪問診療開始



スタッフとも情報共有し、治療方針を確定していきます。

おりど病院のすぐ隣に、在宅医療センターがあります。

? 専門的な治療が必要となった時は? 入院はできるの?

日進おりど病院が全面バックアップ

あらゆるスタッフが専門性をもってバックアップします。当院での入院はもちろん、当院以外での専門的な治療が必要な場合や、別病院などを希望される場合は紹介状にて対応致します。

訪問看護ステーション 心のポケット

Tel 0561-73-7841

日進市・東郷町を中心に 300 名以上の方にご利用頂いております。（他市にも訪問実績あり）
高齢者の方をはじめとし、小児や難病のご利用者様、緊急訪問やご自宅の看取りを行います。
看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が在籍し、70 以上の施設等と連携しています。

住み慣れた環境で最期まで過ごすお手伝い

ご自宅で過ごすにあたり、本人の意思を尊重すること、痛みや苦痛を取り除くことは最優先されるべきです。また同時に、ご家族の後悔が少なく、納得できる看取りにすることも忘れてはなりません。今回は当施設の訪問看護のサービスをご利用され、ご自宅で看取りをされたご家族にお話しを聞かせて頂きました。

■サービスを利用されるまで

銀行員としてドイツに赴任経験のあるリョウヘイさん（仮名 88歳）。17年前に脳梗塞を発症。後遺症で訪問リハビリを利用されていた時期もありました。元々身体を動かす事が大好きで、決めた事はきちんとされる性格。利き手でない左手で毎日手帳に色んな事を記され、かかりつけ医から勧められる「毎日5千歩」を目標に、杖をついて歩く姿はご近所でも有名でした。

当健診センターで指定難病である間質性肺炎が見つかり即入院となりましたが、症状が落ち着き、自宅へ戻られてからはお元気に過ごされていました。

そんなある夜中、39度を超える発熱で大学病院へ救急搬送。入院中の検査により、胆管がんであることがわかりました。医師と相談した結果、様々な理由から、ご本人は抗癌剤治療をお断りされ、定期通院を選択されました。血液検査も安定しており、「元気な日もあれば、身体がえらい日もある」、そんな日々の中で、少しずつ身体が弱っていくような感じでした。ある時期より、通院先の待合室に座っていることも辛くなり、大学病院の医師からは緩和ケア病棟への入院を勧められました。

ご家族は「安心できる自宅の方がいいのでは」、と在宅医療を選択されました。担当のケアマネジャー（以降 ケアマネ）はご本人の希望を最優先と考え、在宅医療の準備を行っていたことから、翌日には在宅医師が、そして翌々日には心のポケットの看護師が自宅を訪問しました。

■サービスの利用を開始されて

すぐに点滴を開始し、ケアマネとの連携で翌日には自宅に介護ベッドが届きました。看護師からは身体拭きやオムツ交換、着替えや髭剃りなどをしました。便秘気味の時は摘便の処置もありました。在宅医療は本当の最期に利用するイメージがあったそうですが、手際よくご主人に寄り添うスタッフの姿をご覧になって、「もっと早く切替えていればよかった」、と感じられたそうです。リョウヘイさんはいつも気持ちよさそうにしていて、「ありがとう。幸せだ。」と言っておられたそうです。そして奥様は、「私自身にも体調に波があります。娘の助けを借りながら主人の世話をする中で、私も元気をもらっていました。」と語られました。

▶療養中のベッドからご覧になっていたお庭

▲学生時代から手帳に記す習慣は、脳梗塞後も左手で続けられました

最期の1週間は食事をとることが難しくなりました。自宅でモルヒネ投薬をし、穏やかに過ごされました。氷やお水を含ませたスポンジを口にいれると「美味しい」と幸せそうな表情をされたそうです。

■お看取りまで

奥様にお伺いしました。「その日の朝は発熱がありました。いつも通り、オハヨウと私に挨拶してくれました。在宅医の診察を受けた際に、最期の時が近いかもしれないと言われ、昼過ぎに心のポケットの看護師も来てくれました。ケアマネが来られた時は、手をしっかり握って何か言いたそうに大きく息を2回すってはいて、そして、そのまま家族も見守る中でとても静かに旅立ちました。」と語られました。娘様は「父はあの時、ありがとうと言いたかったんじゃないでしょうか」とおっしゃってみえました。

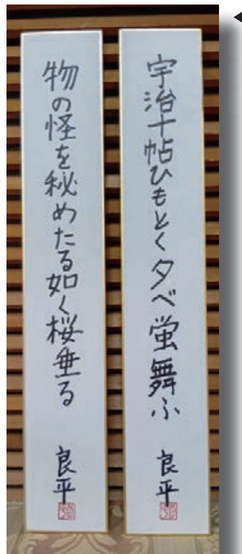
在宅医が夕方に死亡確認をし、心のポケットの看護師がエンゼルケア（※）を行い、お気に入りのお洋服を着られました。趣味で続けられた俳句の中で、一番のお気に入りの句もお棺に入れられたそうです。

※エンゼルケア・・・全身保清や口腔ケアなど、故人のご遺体を綺麗に整える処置のこと。

■ご家族さまの想い

「心のポケットは、かかりつけ医や大学病院とのつながりがあるので安心できました。主人の最期を家でゆっくり看取ることが出来たのは在宅医療を選択出来たからだと思います。主人が亡くなった後も悲しみに寄り添って下さるなど、関わってくださった皆様一人ひとりがしっかりと在宅医療に向き合ってくださいました。住み馴れたわが家で好きなものに囲まれて日々穏やかに過ごせるように、細かい所までアドバイスして下さり、明るく優しく声をかけながらテキパキとお世話をして下さったのには、ありがたくて目から鱗の連続でした。感謝の気持ちしかありません。」とお話していただきました。

現在、奥様は日進おりど病院に定期的にご通院されながら、お元気で過ごされています。「私の時も宜しくね」と娘様とにこやかに語られる様子がとても印象的でした。



◀▼趣味で続けられた俳句、またご趣味のバイオリンやお写真は、ご家族の集まるリビングルームに飾られています

心のポケットは現在 10 人の看護師が在籍しております。リハビリスタッフも多いので、常に連携を図り ご利用者様が住み慣れたご自宅で生活できるようサポートに努めています。一人一人の価値観を大切にし、生活の質を高めることができるよう、また心のこもったケアを提供できるよう日々心がけています。その中で「最期を自宅で迎えたい。自宅で看取りたい。」と望まれる方に充実感が得られるようにお手伝いをしていきたいと思います。

訪問看護ステーション 心のポケット 所長 早川

▶訪問看護ステーション 心のポケットと 看護師とリハビリスタッフ 30 名以上のスタッフが専門分野を持ちより、利用者様に最適なサービス提供を目指しています。

心のポケット サービス開始までの流れ

- 通院中（当院以外も可）
  ▼ 通院が難しく、できれば家にいたい
  ▼ かかりつけ医師に相談。紹介を依頼。
- 入院中（当院以外も可）
  ▼ 家に帰りたい
  ▼ 病院の入退院支援担当に相談し、紹介を依頼。
- 訪問看護や訪問リハビリを利用したい
  ▼ ケアマネジャー に紹介してもらう。

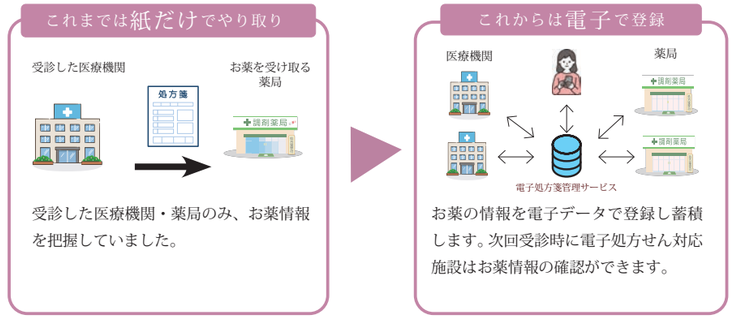
電子処方せんの対応病院になりました

電子処方せんとは？

電子処方せんとは、これまで「紙」で発行していた処方せんを電子化し、データとして扱えるようにしたものです。国が推進する「データヘルス集中改革プラン」の一環で、オンライン資格確認（オンラインで保険証の資格を確認するシステム）を基盤としており、導入する病院や薬局は今後ますます増えていく見込みです。

電子処方せんに対応した医療機関・薬局では、患者さんが他の医療機関・薬局で処方・調剤された薬も、直近～過去5年分の情報をシステム上で正確に確認でき（※）、より安心安全な医療につなげることができます。患者さんにとっても、口頭での伝え漏れの心配がなくなり、お薬手帳を忘れたり記入していない薬があった場合にも安心です。

※マイナンバーカードを保険証として利用することが必要です。



電子処方せんのメリット

①複数の医療機関・薬局間での情報共有が可能に！

従来、薬を受け取るためには、医療機関に紙の処方せんを発行してもらい、それを薬局へご提出いただく必要がありました。紙の処方せんは医療機関ごとに発行されるので、複数の医療機関に通っている患者さんは、同じ薬が重複して処方される可能性もありましたが、電子処方せんにより薬剤情報を一元管理できるようになったことで、医療機関・薬局はその情報を参照し、同じ効果がある薬の重複や、注意を要する飲み合わせをチェックでき、より安心・安全な医療に繋がります。

②自分のお薬情報が確認できる

マイナポータルやお薬手帳アプリ等で、ご自身のお薬情報を確認することができます。薬剤情報を把握しやすくなり、日常生活におけるお薬関連のリスクを抑えることができます。ドラッグストア等で市販薬を買う際にも活用できます。

③お薬の受け取りが便利に！

従来の処方せんの代わりにお渡しする「処方内容（控え）」に記載されている引換番号と被保険者情報を、任意の方法で薬局に伝える（処方内容控えをＦＡＸ、またはアプリで送信する）ことで、薬局が電子処方せん管理サービスから患者さんの電子処方せん（処方せんの原本）を取り出し、調剤までできるようになります。そのため、患者さんの薬局での待ち時間の短縮にもつながることが期待できます。また、全国どこの医療機関や薬局を訪れても、継続的な診療や処方を受けやすいメリットがあります。災害等の非常時でも心強いしくみです。

医療DXでできること

医療DXの推進とマイナンバーカードの活用について

当院では、厚生労働省が進める「医療DX（デジタルトランスフォーメーション）」の方針に基づき、医療の質の向上と患者さまの利便性向上を目的とした取り組みを推進しております。医療DXとは、電子化やデジタル技術を活用して、より安全・安心で効率的な医療体制を構築するものです。

具体的には、電子カルテによる診療情報の一元管理により、複数診療科間の情報共有が円滑に行えるようになり、患者さまにとってもより的確な診療を受けていただける環境が整っています。

あわせて、現在国を挙げて導入が進められているのが、マイナンバーカードを健康保険証として利用する「マイナ保険証」です。マイナ保険証をご利用いただくことで、過去の薬剤情報や健康診断の結果を医師が確認でき、より適切な診療が可能となります。

また、窓口での「限度額適用認定証」の提出が不要となるため、経済的負担を軽減し、より円滑な受診につながるメリットもございます。

当院では、安心してご利用いただけるよう、操作方法や手続きについては職員が丁寧にサポートいたします。ご不明な点がございましたら、どうぞ遠慮なくお尋ねください。

これからも、医療とデジタルの連携により医療DXは医療の質と効率を大幅に向上させ患者さんにとってより良い医療サービスを提供することが可能となっています。

マイナンバーカード保険証の6つのメリット

POINT 1　健康保険証としてずっと使える！

就職や転職、引っ越しをしてもマイナンバーカードを健康保険証としてずっと使うことができます。

POINT 2　医療保険の資格確認がスムーズに！

カードリーダーにかざせば、スムーズに医療保険の資格確認ができ、医療機関や薬局の受付における事務処理の効率化が期待できます。

POINT 3　窓口への書類の持参が不要になる！

オンラインによる医療保険資格の確認により、高齢受給者証や高額医療費の限度額認定証などの書類の持参が不要になります

POINT 4　健康管理や医療の質が向上！

マイナポータルで自分の薬剤情報や特定健診情報を確認できます。患者様の同意のもと、医師がオンラインで薬剤情報や特定健診情報を、また薬剤師も薬剤情報を確認できるなど、より多くの情報を基に診療や服薬管理が可能となります。

POINT 5　医療保険の事務コストの削減！

医療保険の請求誤りや未収金が減少するなど、保険者等の事務処理コスト削減につながります。

POINT 6　マイナンバーカードで医療費控除も便利！

マイナポータルを活用して、ご自身の医療費情報を確認できます。確定申告でもマイナポータルを通じて医療費情報を取得し、医療機関等の領収書が無くても手続きができます。

健康診断を受けて健康チェック

日本人が一生のうちにがんと診断される確率は二人に一人とも言われ、早期発見が命を守る鍵となります。特に乳がんや胃がんは初期段階では自覚症状がほとんど現れないため、定期的な検診が非常に重要です。乳がんは30代後半から増え、40歳を過ぎるとその割合が高くなります。胃がんは50代から増加し、進行するまで症状が現れにくいため、早期発見が生死を分けることになります。

当センターでは、乳がん検診のマンモグラフィ撮影装置を2023年4月に更新しました。新しい装置は鮮明な画像を提供し、微小石灰化や腫瘤など、触診では分からない乳がんを早期に発見できます。また、撮影時には乳房を徐々に圧迫するため痛みは軽減され、より苦痛の少ない検査となりました。

さらに、2024年2月には胃がん検診用のX線TV装置もデジタル化され、FPD（Flat Panel Detector）を採用しました。これにより、従来よりも高精細な画像が得られ、初期の病変を早期に発見できるようになりました。胃がんは自覚症状がほとんどないため、定期的な検診で早期発見を目指すことが重要です。

がんは早期に発見することで、治療の選択肢が増え、回復の可能性が高くなります。自覚症状が現れる前に検診を受けることで、進行を防ぎ、健康を守ることができます。

6月からは市民健診も始まります。この機会に、乳がんや胃がんなどのがん検診を受け、早期発見を目指しましょう。新しい設備を活用した精度の高い検診で、より安心して健康状態を確認できます。ぜひ、この機会にご自身の健康をチェックしてください。

6月より日進市住民健診が始まります

POINT 特定健診
特定健康診査（通称メタボ健診）は、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームに焦点を当てた健診です。この健診では、糖尿病、高血圧、脂質異常症などのリスクを評価し、早期に対策を講じることができます。定期的に特定健診を受けることで、生活習慣病の予防と健康管理がより効果的に行えます。

POINT 肺 肺がんのリスクファクター
- タバコを吸う方
- 身近で喫煙者がいる方
- 血縁者に肺がんの方がいる

POINT 胃 胃がんのリスクファクター
- タバコを吸う方
- 塩分を多く摂取する方
- ピロリ菌に感染していた方

POINT 大 大腸がんのリスクファクター
- お酒を飲む方
- 肥満の方
- 血縁者に大腸がんの方がいる

POINT 乳 乳がんのリスクファクター
- 初潮年齢が早く、閉経が遅い方
- 初出産が高い、出産がない方
- 血縁者に乳がんの方がいる

POINT 子 子宮がんのリスクファクター
- ヒトパピローマウイルス（HPV）感染
- タバコを吸う方

POINT 前 前立腺がんのリスクファクター
- 高脂肪食（動物性脂肪）を好む方
- タバコを吸う方
- 血縁者に前立腺がんの方がいる

予防医学推進・研究センター　お問い合わせ　0561-73-3030

野菜とたんぱく質で 糖尿病・脂質異常症・高血圧 対策

ORIDO's KITCHEN

ねばねば　ツナ丼

- おおよその栄養価（1人分）-

エネルギー	442kcal	たんぱく質	19.7 g
脂質	13.8 g	食物繊維	8.9 g
塩分	1.4 g		

- 材料（1人分）-

ご飯	150 g
納豆（たれ付き）	1パック
おくら	3～4本
（冷凍キザミオクラ	40 g）
ツナ	1/2缶（35 g）
のり・白ごま	適量

作り方

① オクラはゆで、お好みの幅にスライスする。（冷凍オクラは解凍する）
② 納豆にタレを入れ、お好みの加減に混ぜる。
③ ご飯の上に納豆、ツナ、オクラを盛り、のりと白ごまをかける。
＊のりとごまの風味で、塩分控えめでも美味しくお召し上がりいただけます。

POINT
暑くて食欲がない時、疲れて調理が億劫な時でも簡単で栄養が摂れる丼レシピです。
オクラや納豆のねばねばは血圧降下作用があり、オクラや海苔に含まれる食物繊維には血糖値降下作用があります。また、納豆やツナに含まれるたんぱく質は体を作る素として重要です。ツナに含まれるDHA・EPAという脂質には、悪玉コレステロールや中性脂肪を下げる効果がありますよ。

豚と豆苗の重ねレンジ蒸し

- おおよその栄養価（1人分）-

エネルギー	250kcal	たんぱく質	19.3 g
脂質	15.9 g	食物繊維	4.6 g
塩分	1.1 g		

- 材料（2人分）-

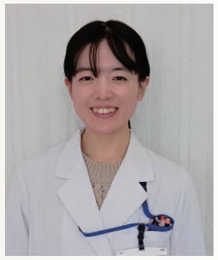
豚肩ロース薄切り	160 g
豆苗	2パック（260g）
白ねぎ	10cm
ぽん酢	小さじ4
酒	小さじ4
後がけ用ぽん酢	小さじ2

作り方

① 豆苗を洗い3㎝に切り、白ネギは千切りにする。
② 器に豆苗・白ねぎと豚肉を交互に重ね、酒・ポン酢を回しかける。
③ ラップをかけレンジで加熱する。（2人分の加熱目安600W 6分）
※豚肉の加熱具合を確認し必要があれば追加加熱する。
④ 食べる直前にぽん酢をかける。

POINT
レンジ加熱なのでキッチンの温度も上がらず、簡単に調理ができます。
食べる前にぽん酢をかけることで、少ない調味料でも塩味、酸味を感じることができます。

「糖質を食べすぎないようにしなきゃ」、「脂っこいものは駄目！」、「薄味にすると食欲が湧かない」、などで過度な食事制限をしていないでしょうか。このレシピは食物繊維やミネラル・ビタミンの含まれる野菜と、体を作る素になるたんぱく質を組み合わせました。どちらも簡単に作れるレシピなので、一度お試しください。



管理栄養士：高橋　佳名子

「いつか」じゃなくて「いま」できること

ワクチン接種のご案内

肺炎球菌ワクチン

ワクチンの種類：①ニューモバックス NP ®　②バクニュバンス ®　③プレベナー 20 ®

日本人の死因に多い肺炎。原因のひとつの肺炎球菌の感染を予防。

接種の対象

- 65 歳以上の方
- 60-64 歳で対象（※）となる方

※心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害がある方など
詳細は厚労省 HP へ

肺炎球菌とは、重症な肺炎を引き起こす原因として最も多い細菌です。特にご高齢の方や基礎疾患を有する患者様では、肺炎だけでなく敗血症や髄膜炎を引き起こし、命に関わることも少なくありません。

肺炎による死亡者の
97.8 %は 65 歳以上

厚生労働省．人口動態調査
（確定数）2023 年より

HPV ワクチン

ワクチンの種類：①サーバリックス ®　②ガーダシル ®　③シルガード 9 ®

小学 6 年生から接種可能。子宮頸がんはワクチンで予防。

Point1
ワクチンで予防

Point2
子宮頸がん検診で
早期発見・早期治療

HPV ワクチンは、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐワクチンです。
子宮頸がんは毎年 1 万人以上が罹患し、30 代までにがんの治療で子宮を失う方は年間 1,000 人います。
（出典：厚労省）
HPV は「多くの女性が一生に一度は感染するウイルス」と言われ、一部の方はがんになってしまう事があります。
お子さまの接種はお済みでしょうか？

厚生労働省．予防接種情報
ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がんと HPV ワクチン

定期接種の対象となりました

帯状疱疹ワクチン

ワクチンの種類：①水痘ワクチン ビケン ®（生ワクチン）　②シングリックス ®（組換えワクチン）

50 歳以上で帯状疱疹の発症率が高くなる傾向があります。

帯状疱疹は 50 歳以上で発症率が上昇し、80 歳までに約 3 人に 1 人がかかるといわれております。
帯状疱疹は潜んでいる水痘・帯状疱疹ウイルスがストレスや免疫低下によって活性化され、神経に沿うように発疹や痛みの症状が出現するものです。
帯状疱疹後 神経痛・脳炎・めまい・耳鳴り・顔面神経麻痺などの難治性で深刻なものもあり、生活の質が変わる場合もあります。

80 歳までに　約 3 人に 1 人が発症

当院で予防接種を希望される方は当院 薬剤科 窓口 もしくは お電話にてお問合せ下さい

公費で接種を希望される方は、お住いの市町村にお問い合わせの上、
接種券・予診票が届いてからご予約ください。

大医会で働くヒトを知る

介護福祉士

髙橋　保将　たかはし　やすまさ

▶所属：住宅型有料老人ホーム 心の結 浅田
▶施設長・訪問介護責任者・ｻｰﾋﾞｽ提供責任者

▶病院と二人三脚で歩む 老人ホーム「心の結」の運営

2017 年の開設より携わっています。前職でも介護施設立ち上げの経験があったため、それを活かしたいと思ったのが入職のきっかけです。
当施設の利点は、日進おりど病院と連携できる医療体制です。日々の介護業務を行う中で、入居者様に万一体調不良等が見られた場合、我々介護職員にはできることが限られますが、日中は常駐している看護師に相談することができ、共に入居者様の体調管理に気を配ることが出来ます。

▶入居者様には「安心・安全」を、職員とは連携を

仕事をする上で大切にしていることは、入居者様に安心して過ごして頂ける環境整備です。また毎日の体操や脳トレなど、楽しく過ごして頂ける工夫もしております。毎月レクリエーションも企画しており、１月の白山宮への初詣では、入居者の皆様にも大変喜んでいただきました。
また、職員の働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。介護という体力的にも大変な仕事に従事する職員が、無理なく仕事を続けられるよう、気づいた事や改善点等があれば、職員同士が気軽に相談できる雰囲気づくりを心がけています。

▶病院職員で構成される草野球チームでは

日進市の草野球チーム「ガストロズ」に所属し、休日には試合や練習に参加して体を動かしています。野球を通じて様々な職種の職員とコミュニケーションをとることは、日常業務でのチームワークにも活かされています。

理学療法士

高橋　亜希　たかはし　あき

▶所属：日進おりど病院　リハビリテーション科
▶理学療法士

▶在宅医療の経験を、病院患者さんのリハビリへ活かす

2006 年に入職し途中 産休・育休を頂きましたが、今年で合わせて 19 年目に入りました。入職前年の学生時代に臨床実習でお世話になり、いい感じの病院だなと感じ、この病院で急性期のリハビリに携わりたいとの思いから入職を決意しました。
今年 1 月からは 4 階・地域包括ケア病棟の担当になり日々のリハビリ業務に励んでおります。当法人の「訪問看護ステーション 心のポケット」に在籍していた時期もあり、その時の在宅医療の経験や知識がとても活かされていると感じております。
患者さまの全身状態や日常生活のレベル、またご自宅の状況やご家族様の生活状態などは様々です。入院中のリハビリでは可能な限りの能力 UP を図り、患者さまに寄り添った退院後の生活の提案や助言ができるよう心掛けております。退院の際に心配なことや 気になることなどありましたら、どんな小さなことでもかまいませんのでぜひ相談してください。

▶プライベートはアクティブに！

元々登山をしていたこともあり休みの日は外に出かけて遊ぶことが多いです。産後はまだ山に行けていないのですが子どもと一緒に低山から山登りできたらなと思っています。まずは体力を戻さなければ・・・。その他に美味しいものを食べたりおしゃべりが好きなので院内で見かけましたら気軽に声をかけて下さい。

だいじょうぶですよ

ここにいますよ

看護部 病棟

夜間の病棟をまもる看護師

「○○さん、どうされましたか、すぐに伺います」
今日も夜の病棟では患者さんからの様々な訴えに２名の看護師と
１名の看護助手が対応しています。夜間の患者さんは昼間とは違う
表情をみせます。「大丈夫ですよ」とそっと寄り添って手をにぎったり、
ドクターコールが必要だったりと静寂な夜はありません。
安心・安全な治療を受けていただくために、一人一人の患者さんの
状況を把握し適切な対処が求められる現場です。
時には心が折れることもあります。
でも「ありがとうね」「あなた方がいてくれて安心したよ」という
患者さんの言葉と笑顔が何よりの癒しです。
さぁ、夜が明け朝日が射し日勤の仲間が出勤するまで頑張るぞ！
そんな声が聞こえてきます。

▶記：看護部長　北條 千恵美

**一晩中 いつなるか分からない
ナースコール。
緊急でドクターを呼ばなければ
いけない時もあれば、
患者さんのお話しにそっと耳を
傾ける時もある。
大丈夫。
私たちは、「ここにいます」。**

■夜間病棟の管理

夜間は医師が1名しかおらず主治医が不存の場合も多いため、看護師の判断が大切になります。
手術後の方、時間外診療から緊急入院となった方、認知症の方、寝たきりの方、痰が多く注意が必要な方などをよく観察し、異変があれば医師へ報告するようにしています。受け持ちの患者さんだけでなく、病棟全体を把握することで円滑で安全・安楽な看護が出来ると考え、業務が立て込んでいても優先順位を考え行動し、笑顔で優しく対応出来るようにしています。

■患者さん ご家族さまへの想い

入院患者さんやご家族さまは不安と心配でいっぱいだと思います。夜間特有の不安感や孤独感を解消するために、分かりやすい説明や、相談しやすい雰囲気作りを心掛けています。急変時には迅速な連絡を行っております。
また、夜間は患者さんにとって大切な休息の時間でもあります。出来るだけ物音をたてない、光を当てないなど細かな所まで意識を払って業務にあたっています。

■やりがいを感じる時

多忙の中、不測の事態があっても、夜間の当直医師や他のスタッフと協力し無事に朝を迎えることができたときは達成感を感じることができます。
状態が良くない患者さんが落ち着かれたり、手術を受けられた患者さんが問題なく経過出来た時、無事に日勤帯の看護師に業務を引き継ぐことができたときはホッとします。
特に患者さんのケアやお話しをしている時に、患者さんが感謝の気持ちを伝えて下さった時や、「今日は夜の当番があなたで安心ね」と言葉を頂いたときはとても嬉しく思います。

■日勤帯との違い

夜間は1病棟あたりスタッフが3名となり、日勤帯に比べてスタッフが少ないため、多重課題に直面する事も多くあります。また、報告のタイミングや適切な判断をする必要があるため、不安なこともたくさんあります。
少人数でも十分な対応が出来るようにスタッフ間の連携をより意識して、相談しながら業務にあたっています。
夜間に眠れないことは患者さんにとって大きなストレスとなるため、環境の調整や安心できる声がけをし、必要に応じて医師の指示で睡眠剤を使用するなどして、1日でも早く退院が出来るように看護していきたいと思っています。

■他スタッフとの連携

夜間の患者さんの状態は、看護師が一番理解していますので、状態を医師に伝えて今後の治療に活かします。夜間に眠ることができていない患者さんは医師や薬剤師と情報共有し、適切な睡眠剤などの内服を検討し、翌日以降、よりよい睡眠をお取り頂くように連携しています。
リハビリテーション科にも患者さんの状態を報告し、よりよいリハビリ療養が出来るように心掛けています。
急遽レントゲン撮影などが必要となった場合は、24時間体制で待機している放射線技師と連携してスムーズな対応をしております。
毎朝の病棟採血については、検査技師が実施しております。
看護師と看護助手もナースコールやオムツ交換など、お互い助けあいながら業務にあたっております。とくに夕方と朝のラウンド（病棟や病室などを巡視して、患者さんや看護の状況を確認する業務）の時は、役割分担をすることで自分の業務に集中することができ、患者さんの安全に繋がっていると感じます。

▼取材協力：
2階病棟　石橋 利枝
福田 旭
3階病棟　石川 秀樹
4階病棟　山田 真行
佐々木 星良

INFORMATION

1 内視鏡センターにリカバリー室を設置

検査後の患者様にゆっくりお休みいただける場所としてリカバリー室を設置いたしました。検査後も安全安心に過ごしていただけるように看護師が常駐した部屋でモニター管理と一人一人丁寧な説明、対応をさせて頂きます。

胃がんや大腸がんの早期発見・早期治療につなげるため、年に１度の胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査を受けられる事をおすすめします。

2 敷地内のバスの乗り入れについて

令和６年４月より病院正面玄関にくるりんばす (日進市内巡回バス) の乗り入れが開始しました。バス停は正面玄関ロータリーに設置されております。バスが正面玄関ロータリーや駐車場内を通行しますので、ロータリーでの長時間の駐停車はご遠慮くださいますようご協力をお願い致します。

おりど病院のバス停に停車する路線は、【巡回線】と【米野木線】の２路線です。発着時刻などの詳細は、日進市くるりんばす案内のページをご確認下さい。

くるりんばす詳細

3 ネット予約システム受付開始

下記診療の一部はネットでご予約頂く事が可能となりました。
まずは LINE のご登録をお願い致します。

- 皮膚科診療
- 小児科診療
- インフルエンザワクチン

など

友だち募集中

4 1.5 テスラ MRI 更新のお知らせ

MRI は強い磁場と電波を使い、体の各組織の状態を検査をする装置です。体のあらゆる角度の断面や数種類の性質の画像が得られます。MRI 検査はエックス線を使用しないため放射線被ばくをすることがありません。

令和７年６月に更新する最新の 1.5 テスラ MRI では、高分解能画像により組織構造の描出能が向上し、診断をより確実なものにします。
また従来の装置に比べ短時間、静音でやさしい検査となり、患者さんの負担を軽減することができるようになります。

編集後記

今年度より広報誌作成チームを立ち上げて制作にあたっております。今後はよりパワーアップした内容にて、地域の皆様と当法人をつなぐ懸け橋になれるような媒体を目指して参ります。
広報誌へのご意見やご感想など、随時メールにて受付けております。(※ QR コードからメール起動 ➡)

令和７年５月発行　医療法人大医会 広報誌「あじさい」 発行責任：企画部